

# たなばた

# 講演会

# 観望会

入場  
無料

7月6日(金)  
18:00~20:00

大阪府立大学  
サイエンスホール  
(なかもずキャンパス)

## 七夕講演会

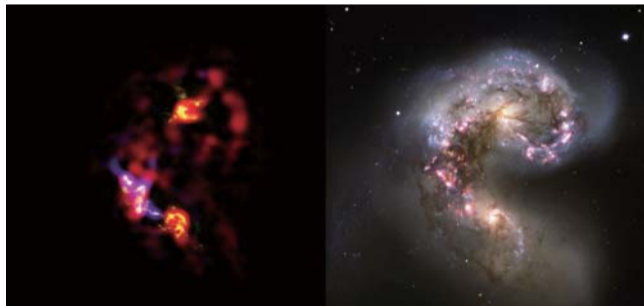


村岡和幸 (18:00~18:45)  
(大阪府立大学理学系研究科)

### 世界の果ての千里眼

~巨大電波干渉計 ALMA が切り拓く、最新の天文学~

日本・北米・欧州の三者が 10 年以上にわたって南米チリ・アタカマ砂漠に建設を続けてきた世界最高の電波干渉計 ALMA が、昨年 9 月末、ついに科学的観測を開始しました。それ以来、ALMA は毎日のように新たな成果を生み出し、遠い宇宙に対する私たちの認識を大きく変えつつあります。講演では、望遠鏡の建設地であるチリ・アタカマ砂漠の様子や ALMA を使う観測がどのように選ばれ、実施されていくのかを紹介します。



アンテナ銀河 (NGC4038/9)  
左が ALMA  
右が可視光で見たときの写真

(credit) Photo by ESO  
<http://www.eso.org/public/archives/images/publicationjpg/eso1137d.jpg>

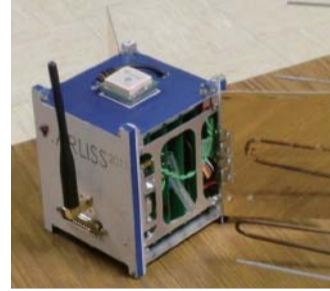


南部陽介 (18:45~19:30)  
(大阪府立大学工学研究科)

### 手のひらサイズの人工衛星 OPUSAT

~超小型衛星が創る未来とは~

いま、世界中の大学で、CubeSat と呼ばれる手のひらサイズの人工衛星開発がブームになっています。大阪府立大学もまた、超小型衛星 OPUSAT (2014 年に H-IIA ロケットで打上予定) を開発しています。この衛星プロジェクトの主役は学生です。設計・開発・運用のすべてを学生自身が知恵を絞って行います。衛星開発は、そこに感じる夢と同じくらい、とてつもない苦勞があります。この経験から学生たちが何を学べるのか、そして、この活動が未来にどうつながっていくのか、宇宙クイズを交えつつ、紹介していきます。



学生が開発した超小型衛星 OPUSAT



## 観望会

「月と土星の観望会」サイエンスホール前 芝生広場  
19:30~ (雨天中止)

望遠鏡をのぞいて土星や普段は見れない月の一面を見てみましょう。さあ、土星の輪や月のうさぎは見つけられるでしょうか。

## シアター

「4次元宇宙散歩」サイエンスホール (A12棟)  
19:30~

宇宙から地球の姿を見たことがありますか？太陽系の外のコト知ってますか？さらにその遠くは??最新の宇宙像を元にして造られた宇宙空間と一緒に旅してみませんか。

- ・小中学生のお子さんは保護者の方がご同伴ください。
- ・事前申し込み不要です。当日で自由においでください。
- ・駐車場がありませんので、電車やバスなどをご利用ください。



(主催) 大阪府立大学 理学系研究科 宇宙物理学研究室、  
大阪府立大学 宇宙科学技術センター  
大阪府立大学 天文部  
(共催) 日本天文学会、天文教育普及研究会

[問合せ先]  
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1  
大阪府立大学 理学部 宇宙物理学研究室  
TEL & FAX: 072-254-9726  
<http://www.astro.s.osakafu-u.ac.jp/info/Tanabata2012.html>



この催し物は「全国同時七夕講演会」に賛同するものです。他にも全国 65ヶ所で同時期に講演会が開かれています。詳しくはウェブをご覧ください。  
> <http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/tanabata/>



全国同時七夕講演会

## 会場へのアクセス

大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス

- ・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車、徒歩 20 分
- ・南海高野線「白鷺」駅下車、徒歩 10 分